

立命館生協 無料試食会



[組合員交流]

取り組み概要

日時：4/9(木)・4/10(金) 14:40～
場所：リンクショップ前特設コーナー
参加者数：2日間合計298名

背景や概要：キャンパス委員会にて立案された取り組み。組合員に対し、5種類の味のチュロスを配布し、お気に入りの味を投票してもらった。総代募集や次回の企画の宣伝も同時に行われた。

キャンパスの特徴を活かした取り組み

POINT.1

職員とともに考え実施するプロセス



この取り組みは、3月に行われた「キャンパス委員会」にて案が出され、実施に至ったものです。キャンパス固有の課題にもとづき、「年間を通じて総代活動を行い、多くの組合員を巻き込みながらとつくる生協」の実現を目指して毎月議論されるこの場で、**組合員と深く関わる企画として学生委員から提案**されました。生協や学生委員会の認知度や関心が低いという現状を踏まえ、直接交流する機会を設けたいという意見に**職員も賛同し、実施に向けてスピード感を持って進む議論の様子**が印象的でした。

学生委員と職員が対話を重ねながらイメージを具体化したことで、その日のうちにおおよその実施日や場所、企画の内容が決定していました。

POINT.2

組合員の興味に寄り添った取り組み

立命館大学びわこくさつキャンパスには、食に関する学部が設置されており、**食への興味・関心が強い組合員が多い**です。このような特徴から、今回はチュロスの無料試食会が行われました。5種類のフレーバーを試食してもらい、**一番好きな味をシール投票で選んでもらう形**をとっていました。

開始前から90人近くの人々が列を作り、開始を待つ姿が見られるなど、**組合員がこの企画を楽しみにしていた様子**がしっかりと伝わってきました。1位になったフレーバーは後日、生協ショップまたは食堂で販売されることもアナウンスされていました。



POINT.3

多くの組合員を巻き込み、単発で終わらせない工夫



取り組みを事前に知っていた人だけでなく、列を見て興味を持った組合員や、食堂・ショップに来た人に学生委員が声かけを行っていました。これにより、**利用のついでに立ち寄る組合員も増え**、多くの組合員を巻き込むことができていました。

シール投票の際には、学生委員の積極的な働きかけにより、試食した多くの組合員に投票を促していました。また、投票後には**総代募集や次回の学生委員会の取り組みを告知してチラシも配布**し、生協への関心を高めるとともに、**継続的な組合員との関わりづくりのきっかけ**に繋げていました。